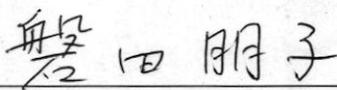


# 会 議 録

|   |  |   |
|---|--|---|
| 会議の名称   | 令和7年度第3回上尾市環境審議会   |   |
| 開催日時  | 令和8年2月12日(木) 14時00分～14時52分   |   |
| 開催場所  | 上尾公民館5階 講座室  |   |
| 議長(委員長・会長)氏名                                  | 磐田 朋子(会長)  |   |
| 出席者(委員)氏名                                     | 小川 早枝子、島津 秋男、平田 通子、海老原 直矢、鈴木 礼三、<br>栞原 邦夫、市村 英一、松本 弘子、新井 力、生井 圭子、<br>相良 純子、池田 敬彰、鈴木 敏資、安田 信一 以上14名   |   |
| 欠席者(委員)氏名                                     | なし   |   |
| 事務局(庶務担当)                                     | <b>【上尾市】</b><br>環境経済部 藤田部長、田中次長<br>環境政策課 大竹課長、櫻井ゼロカーボン推進室長、永島主査、<br>大橋主査、中村主任、塩田主事<br><b>【株式会社 ナレッジリーン】</b><br>緒方 奈央子、中平 貴之  |   |
| 会<br>議<br>事<br>項                              | 1 議 題  | 2 会 議 結 果   |
|   | (1) 開会<br>(2) 委員紹介<br>(3) 議題<br>(1) 第3次上尾市環境基本計画【改定版】案について<br>(2) 答申(案)について<br>(4) その他<br>第3次上尾市環境基本計画の答申スケジュールについて<br>(5) 閉会  | 議題(1)<br>原則案のとおり進めるが、当審議会の意見をもとに事務局側で検討・調整・変更<br><br>議題(2)<br>案のとおり了承                         |
| 議事の経過   | 別紙のとおり   | 傍聴者数 0 名  |
| 会議資料  | (1) 令和7年度第3回上尾市環境審議会次第<br>(2) 資料1 第3次上尾市環境基本計画【改定版】案<br>(3) 資料2 第3次上尾市環境基本計画【改定版】概要版(案)<br>(4) 資料3 第3次上尾市環境基本計画(案)への市民のご意見と市の考え方<br>(5) 資料4 第3次上尾市環境基本計画の改定について(答申)案<br>(6) 上尾市環境審議会 委員名簿(第16期)<br><b>【配布】</b><br>(7) 令和7年度第3回上尾市環境審議会 席次表 |   |
| 議事のでん末・概要に相違なきことを証するため、ここに署名する。<br>2026年3月13日 |  |   |
|   | 議長(委員長・会長)の署名  | <br>_____ |
|   | 議長に代わる者の署名<br>(議長が欠けたときのみ)   | _____<br>_____  |

## 議事の経過

### 議事 第3次上尾市環境基本計画【改定版】案について

→原則案のとおり進めるが、当審議会の意見をもとに事務局側で検討・調整・変更

#### 《議事要旨》

- 事務局より資料1～3により説明。
- 第3次上尾市環境基本計画【改定版】案について、上尾市環境審議会、上尾市環境政策推進会議及び上尾市環境政策推進会議幹事会での審議内容並びに市民コメントでの意見を反映させ、第3次上尾市環境基本計画【改定版】素案から変更・修正となった箇所を説明。
- 第3次上尾市環境基本計画【改定版】概要版（案）について、市民コメントでの意見に基づき、計画の進捗・成果・目標などの具体的な結果や定量的なデータを記載した概要版（案）を作成したことを説明。
- 市民コメントについては、断熱に関することや評価の注釈など一部の意見を計画案に反映したことを説明。

#### 《質疑応答》

| 発言者     | 議題・発言内容・決定事項  |
|---------|---|
| 安田委員    | 非常にきれいにまとまったのかなというふうに思う。資料1の市長のあいさつ文については、令和3年3月の策定時のままとするのか。   |
| 事務局     | 基本的には変えない方向で考えているが、いかがか。  |
| 安田委員    | このなかの文章で、下から6行目に「低炭素社会」という文言がある。これは、これからやることに対して逆戻りの言葉になってしまうので、整合しないのではないかと思う。計画を策定したのは令和3年3月なので、その当時はあったのだと思うが、変化を捉えて改定しようという趣旨なので、いかがなものかなという意見。   |
| 事務局     | 仰るとおり、令和3年3月の時点ではこういった表記であったと思う。事務局としては、策定時のものをそのまま残すという考え方で進めていたが、例えば、「低炭素社会」という文言だけを変えるなど、より自然な形にしていくほうが、皆様が疑問に思わずにすっと入っていけるのかなと思うので、脱炭素の部分だけ修正するか。 |
| 鈴木（敏）委員 | どうして令和8年度時点のものではダメなのか。私は、違和感がある。  |
| 事務局     | 「低炭素社会」という文言を削除するのはいかがか。  |
| 安田委員    | あいさつ文に記載される年月は、どうなるのか。令和3年のままとするのか。   |
| 事務局     | この計画の策定自体は、令和3年であることに間違いはない。改定後は、表紙に令和8年3月と記載されるが、事務局としては特に変えるという考えはなかった。   |

|         |  |
|---------|--|
| 星野委員    | 計画自体は令和3年に策定したものだが、改定版を作るということなので、市長のあいさつ文についても「策定にあたって」ではなく「改定にあたって」とし、文章も新しくしたほうがよいのではないか。   |
| 事務局     | 多くの委員からご意見を頂いたので、市長のコメント部分であることから事務局一任とさせていただき、令和8年3月という表記で現代の流れにあったものに変えさせていただくということではいかがか。   |
| 磐田会長    | では、事務局の今の方針で進めていただければと思う。  |
| 鈴木(敏)委員 | 市長あいさつ文の下から9行目。「第2次上尾市環境基本計画を踏襲しつつ」とあるが、もっと前向きな表現をしたほうがよいのではないか。   |
| 事務局     | この部分については、全文書き換え、1からまた作り直す。  |
| 市村委員    | 全文書き換えることはよいが、それは、ここで審議する内容ではないということ。ただ、そうは言いながらも、こういう文言については「低炭素」ではないとか、いろいろな指摘があるが、この部分はもうお任せということになるか。  |
| 事務局     | 今回は、「気候変動適応計画」等の地球温暖化という部分がだんだん色濃くなってきているところがあるので、その部分をより反映させたような文言にするのかなと今考えているところである。  |
| 市村委員    | 一任でよろしいが、細かいところでおかしいところがないよう気を付けていただきたい。   |
| 事務局     | 事務局としても細心の注意を払って、計画に沿った形でのご挨拶を用意させていただく。   |
| 磐田会長    | 本編63頁の事業活動指標「無電柱化整備延長(累計)」の現状値の小数点がカンマになっている。  |
| 事務局     | 修正する。  |
| 安田委員    | 大変細かい話で恐縮だが、カラーで非常に見やすく作っているが、地球環境負荷を上げてしまう作り方。印刷段階やホームページにあげるときは、民間では3色以内に抑える等決めてしまうが、その辺の配慮は今後されるのか。   |
| 事務局     | 完成した計画については、PDF化しホームページ等でご覧いただけるようにすることが主となる。やむを得ず、紙でしか配布できない場所については必要最低限の部数を印刷させていただく。  |
| 安田委員    | 黄色の白抜き文字は、色合いで字が見づらい。本当はデザイナーをいれないと分からない。最終的にまとめるときに、そういった形を取るのが、ごく一般的な会社では当たり前である。そして、環境に配慮したよということを、例えば、紙。インク。こういったものも環境に配慮した材料を使って印刷してありますよとしているのが一般的。  |
| 事務局     | デザインについては、今一度点検して、ユニバーサルデザイン等に合致しない部分については、事務局にて修正させていただく。用紙については、再生紙を使用するが、ソイインク等の使用は難しい。出来得る限りの完成品となるよう努める。  |
| 海老原委員   | 次回の改定も含めてということでは会長からも話があったので、12頁からの現行計画の評価というところで、評価結果が「×」になったところについては、なぜ「×」になったのかということを書いていただきたいと繰り返しお伝えしてきた。ここの総合評価を見ると、御課としてはある程度その中に記述していると考えていると受け止めているが、一般市民の方が見ると、なぜ「×」になってしまったのか、なぜできなかったのかという |

|       |   |
|-------|---|
|       | 直接的な記述にはなっていないと思う。致命的な欠陥ではないと思うが、計画策定して評価をつけているものなので、次の評価に向けては、そういったところが分かりやすくなるように年次の評価をしていくということも必要だと思う。記載を直すということではないが、受け止めていただけたらと思う。   |
| 事務局   | 承知した。指標については、全庁的に広がっている部分があって、各担当課の考えもあったりして、統一感がなくなった部分もある。先日、ご指摘いただいたので反省点として受け止めている。次の改定に向けては、こういった部分を少しずつ改善して、同じような基準で、より市民の皆様に分かっていただけるような内容に少しずつ手を加えていきたいと考えている。  |
| 海老原委員 | お願いします。   |
| 小高委員  | 市民からのコメントについて、1カ月間募集されたとのことだが、応募者が5名ということで、私としては少し少ないのかなと感じたが、できる限り広く、特に製造分野の方なんかの声も聞いたほうが良かったのかなと思うが、次回そうしていただきたいと思うが、いかがか。  |
| 事務局   | 小高委員が仰ったとおり、確かに多い数字ではないということで、事務局としても、できる限りの媒体を使用して、いろいろとSNS等にも発信したが、市民の皆様にとっても身近であるものの身近じゃないという分野が環境であったりするのかなと我々も思ったところである。より多くのご意見を頂けるように、ちょうど今、ごみの分別や有料化について市民コメントを発信していくが、そういった部分も考えながら、なるべく環境部門にご意見いただけるような形で事務局としてもアイデアを考えていく。   |
| 小高委員  | よろしくお願いします。   |
| 市村委員  | 全体的なことで、基本計画はこれでいいと思うが、この中の指標に、みどりが減ったであるとか、生産緑地が増えているという話もある。本当かなと思ったりして、ようするにこれに基づいて実際の行動に移していくと思うが、どんどん林が減っている。そして、耕作できる畑もどんどん減っている。基本計画に基づいて、実務レベルで動かしていくときに、どこに対して働きかけてやっていくかというのを担当部署によく周知して進めていただきたいと思う。私も山林を持っているが、管理するのが非常に大変である。伐るために何百万円もかかる。しかし、これは相反することで、1人のCO2排出量を成木で賄うには20本くらい1年間で必要である。1,000本くらいの林を伐ると100人が排出するガスが、そこで損なわれてしまう。そういうことも含めて、畑は単純に耕運するだけでいいわけではなく、そこに農産物があって初めてCO2を吸収しながら、自然環境を守っているわけなので、そういう観点からも基本計画から落とし込んだ実務レベルで部署ごとに、誰に、どこに働きかけていけばいいのか、予算もかかることなので、予算がかからない方法とか、5年、10年でそういう環境意識を養うのは、たぶん小学校、中学校である。その教育の段階で、省エネとか地球環境を守るであるとか染み込ませていただいて、5年、10年経って自分たちが世の中に出ていくときに、有効にそれが機能するようになっていけばよいと思う。結果だけをここに書くのではなくて、先程どこが「×」だったのか、上に上げるためにどういう施策に取り組んで、どうなったのか、ここに書ける話ではないが、実務レベルで少しでもポイントを上に持っていけるような活動にしていきたいと思う。 |

|      |  |
|------|--|
| 事務局  | <p>仰るとおり。いかに各部に振り分けて何を実行しているのか。お金がかからなくということも確かにあるが、太陽光等についてはどうしてもお金がかかってしまう。事業者向けにこれからゼロカーボンを進んでいくが、費用がかかるところに補助金投入だとか、そういったところもある。一方で、自然を残すということは大事なことで、市としても買い取りをずっと進めてきている。ただ、段階的に進めているということもあり、全体として今後10年、20年を見据えたときに、どの地点を目指すのかというところを、この計画で大分具体的になったと感じている。実行する力というのは大事だと思うので、今のご意見は身に染みて感じているので、対応してまいりたいと思う。</p>  |
| 磐田会長 | <p>環境審議会で議論する内容はすごく広範囲である。産業にも農業にもかかることであり、産業活性化と脱炭素を組み合わせていかないと、いくら市に予算があっても限りがあるので計画が進まない。自然環境もそうだが、交通とか本当に多様な分野に渡っているので、今回の審議の中でも各担当課と連携していることが明記されている政策もたくさんある。他の市では環境審議会に全ての課から1人ずつ出ただき、環境審議会の議論を課に持ち帰っていただくようなパターンもある。あるいは、市長トップダウンみたいな形で部署横断的なチームを作るくらいの力を入れている市長さんも結構いるので、上尾市もこういう形できれいに改定版が立ち上がっているのだから、これを実際に実現していくためには、もうちょっとそういったプラスアルファの部署連携が必要になってくるかなと思っている。</p>                                |
| 小高委員 | <p>市民コメントの中で、市としては太陽光発電を進めていると思うが、小水力発電についてのコメントがあり、どういった形で実現できるのかなと思いつつ読みかかっていた。計画の中には掲載しないと回答が載っているが、環境に配慮ということになると、こういった形の方がよりよい計画なのかなと思うが、今後そういった検討はされるか。</p>  |
| 事務局  | <p>シナリオ検討調査時のポテンシャルの可能性としては、上尾市は小水力の発電には適していないと結果は出ているが、他市町村等では少しの高低差を利用して、マイクロ小水力に取り組んでいるところもあり、実際、事業者からもそういった提案があったので、ゼロカーボン推進室としては、できるもの少しでも取り入れていきたいと考えている。</p>  |
| 事務局  | <p>水力についても、ゼロカーボン推進室が言ったとおりだが、技術というのは上がっていくので、その状況下で判断していかないといけないというのがあり、一時よりはる大分そういったものが浸透してきたのかなと私自身も思っている。最新技術でどの程度まで、そして、今の上尾市でできるのかできないのかという判断をして進めていくべきだと考えている。</p>  |
| 安田委員 | <p>小水力発電は当然ながら自然の力を使って、捨てている水だったら、それによって小型の発電機をまわすということだが、県内で小水力が現在動いているのが、秩父に1カ所。秩父は2回目の補助金をもらって作り替えたものが今動いている。その前は、上川町で川の高低差を使って水を貯めて、そこで発電して、その発電した電力は全部農業用で使うというようなことでやっていた。最新の技術で実現可能かどうかというのは、横浜市が水道管の中にマイクロ発電を入れて、それで発電して皆に供給すればよいのではないかという発想のもとで実験を繰り返しているみたいだが、まだ実用化されていない。やはり、人間の飲み物の中にそういうものを入れていいのかという、いろいろな賛否もあって実用化が進んでいないというのが実態である。いずれにしても、上尾市でそういうポテンシャルがあるかないかと言われると、なかなか難しいのかなというふうに思う。</p> |

|       |  |
|-------|--|
| 海老原委員 | 他の審議会系の計画だと委員さんの名簿 <small>けんけんがくがく</small> が載っているが、環境基本計画は前回も載っていない。結構、熱量があって喧々諤々 <small>けんけんがくがく</small> やっている審議会なので、今日来たばかりの議選のお二人もこうして発言したりするので、もし可能であれば、こうやって皆さん長期間議論されており、責任ある立場でやっているの、載せていただけるとよいと思う。もう一点は、これも今後となるが、これも他の計画との並びで、他の計画はいくつかの計画を横並びで一体的に策定していて、この計画が出来上がったのを見ても、計画の中にまた計画があって、その中に実行施策があってというのは、やはり市民にとって分かりづらいと思う。今回はいいが、法的な基準等は分からないので難しいということであればよいが、一体的な策定ができるのであれば、その方が好ましいのかなと最終的にこれを見て思ったので、そこはご検討いただきたい。 |
| 事務局   | 名簿については、掲載する。後段の話についても、今回いろいろご意見いただいた反省点もあるので、今後反映させていく。   |
| 磐田会長  | 他に無いようであれば、こちらの内容で確定という形で進めさせていただきたいと思う。   |
| 一同    | 了承。  |

## 議事 答申(案)について

→案のとおり了承

### 《議事要旨》

- 事務局より資料4の朗読をもって説明。

### 《質疑応答》

なし

## その他の内容について

### ① 第3次上尾市環境基本計画の答申スケジュールについて

→3月2日(月)に会長より市長へ答申を行い、その後、3月末までに同計画を市民へと発出するほか、議会への配布を行う予定を報告。

以上